

専門組織「tegoss」と一緒に 鳥獣対策を

市は、鳥獣害対策中間支援組織「tegoss」と連携し、専任のフィールドアドバイザーが市役所に常駐しています。鳥獣による被害が発生した場合の対策に加え、被害を未然に防ぐためのサポートも行っています。

(一社)広島県鳥獣対策等 地域支援機構「tegoss」とは

広島県の呼び掛けで昨年4月に立ち上げた鳥獣害対策の専門組織。略称の「テゴス」には、広島弁で「てごうする(手伝う)」という意味が込められており、市や地域が進める鳥獣対策をサポートすることを業務としています。

今、安芸高田市が直面している問題

防護柵が正しい張り方で
設置されていない

放任果樹などがあり
農地に鳥獣を引き寄せている

果樹や野菜が食い荒らされる

自分の財産は、まず自分で守ることが基本です。「tegoss」のサポートや市の補助金制度を利用して、安心できる環境を整えていきましょう!



tegoss
ホームページ

有害鳥獣の対策で お困りの際には ご相談ください!



tegossフィールドアドバイザー
安芸高田市担当 栗栖 伸明さん

tegossの取り組み内容

相談受付

農作物が荒らされたり、庭先に鳥獣が現れて被害を受けた場合には相談してください。専任のフィールドアドバイザーが現地に出向いて状況を聞き取り、加害鳥獣を特定し、その獣種に応じた最適な対策と一緒に考えます。



各種環境調査

被害の原因となる放任果樹の除去や田畑への野菜くず投棄防止などの指導を行います。また、サルなどの行動をGPS発信器で追跡するなど、調査研究を踏まえた効果的な被害対策にも取り組んでいます。



技術指導

被害状況や地域の実情に合わせて、防護柵の正しい設置方法などの技術指導を行います。講演会を通じて鳥獣の生態などの知識や対策方法を広める取り組みも実施しています。



「相談窓口」

(一社)広島県鳥獣対策等地域支援機構「tegoss」

☎・お太助フォン 47-4021(地域営農課内)

☎地域営農課 農地利用係 ☎・お太助フォン 47-4021



Hi! School

ハイ! スクール

吉田高校と向原高校の
特色ある活動をシリーズで紹介します

吉田高校

始動! 若い力が描く、地域の新しい未来

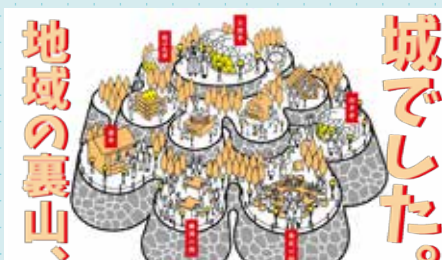
今年2月の第3次安芸高田市総合計画シンポジウムで発表された地域魅力化プロジェクト「ド田舎高級化」。2年生4人が中心となり、将来的に郡山城跡を「まるごとホテル」として活用することを目指しています。これは山城全体をホテルに見立て、非日常を体験できる場として郡山の魅力を引き出す試みです。今年はその第一歩として謎解きしながらまち歩きをするミステリーツアーを企画。高校生主体の挑戦が、安芸高田市の未来を動かす大きな一歩になろうとしています。



ミステリーツアーの内容を検討する生徒たち。

地域を元気にしたいという思いで参加しました。まずは人を呼ぶきっかけが必要だと考え、ミステリーツアーを企画しました。安芸高田市の歴史・自然・食など、今ある魅力を生かすところ、地域おこしの形だと感じています。

木坂 心水さん(2年生)



郡山城跡を生かし、まちの魅力を引き出す取り組みを考えています。

広島県立吉田高等学校 吉田町吉田719-3 ☎42-0031



思いを引き継ぐバトンタッチ “事業承継”

事業承継の
大切さを伝えたい!



地域おこし協力隊
岡本 康太郎

第4回 継ぐことは、未来を創る挑戦 ~食料品メーカー4代目の決意~

「継ぐって、面白い挑戦ですよ」そう語るのは、市内の食料品メーカーを引き継いだ40代の男性です。

大学入学を機に上京、バンド活動にのめりこみ、そのまま卒業後も継続。いつか帰ればいい、と気楽に思っていたある日、祖父の「戻ってきてほしい」という声を、たまたま隣で聞いた彼女が「帰ろう」と背中を押しました。それが転機となり、仕方なく地元へ。

配達を手伝ううちに、業界の厳しさを痛感します。「同じことを続けていては未来がない」と思い、覚悟を決めて家業を継ぎました。100周年を迎えた際

“地域の支えがあったからこそ続けられたのだ”と気付き、事業領域の見直しや販路開拓に取り組み始めます。

承継には技術習得や資金計画などの壁があります。けれど何より、既にある信頼や人とのつながりを生かせる“スタートラインの近さ”が大きな強み。今ではオンライン販売や雇用創出にも力を注いでいます。

「守るだけでなく進めることもできる。それが事業承継の面白さです」その言葉に、地域の未来への希望がにじんでいました。

☎商工観光課 商工係 ☎・お太助フォン 47-4024